

## 第8回武蔵村山市ごみ資源化等市民懇談会会議録

開催日時	平成20年8月22日(金) 午後2時~ 午後3時
開催場所	402集会室
出席者 (12名)	鳴川 東、藤澤 泰子、樋口 豊子 市川 晃、安田 吉一、柄澤 暢吉 内野 好江、瀬谷 智子、乙幡 英次 小野 吉雄、荒幡 耕司、林 喜代三
欠席者 (3名)	土屋 輝雄、荒幡 善政、青木 秀雄
傍聴者 (0名)	
事務局	古川主査、澤木
配布資料	* 第7回武蔵村山市ごみ資源化等市民懇談会会議録 * 生ごみの堆肥化に係るモデル事業の実施方法について(報告案)
議題	1 生ごみ資源化モデル事業の実施方法について(報告案) 2 その他

<p>会議要旨</p>	<p>座長  それでは、これより第8回武蔵村山市ごみ資源化等市民懇談会を開催させていただきます。</p> <p>本日の出席委員は、<u>12名</u>で定足数に達しておりますことを、委員の皆様にお知らせします。</p> <p>なお、欠席委員は、<u>土屋委員</u>ほか2名であります。</p> <p>それでは、議題に入ります前に配布資料の確認につきまして、事務局より説明をお願いします。</p> <p>事務局  それでは、お手元に配布いたしました資料につきまして、確認させていただきたいと思えます。</p> <p>資料の確認を行う。  資料に関して質問等がありますか？</p> <p>各委員  特になし。</p> <p>座長  それでは、議題(1)の「生ごみの堆肥化に係るモデル事業の実施方法について(報告案)」に入ります。事務局より説明をお願いします。</p> <p>事務局  資料の確認と議題(1)の説明を行う。</p> <p>座長  ただ今、議題(1)の説明が事務局よりありましたが、これについて質疑等がございましたら、お受けいたします。</p> <p>委員  この報告書案については、生ごみを堆肥化にするとう方法の答申を出すのか。もしそうならば、集めたものを、どこで、堆肥化するのか、又、場所はあるのか。</p> <p>事務局  堆肥化については、5ページの6項目に堆肥化で一次処理したもの、又は、二次処理したものをイベント等で配布が製品化する。市としてどこかの場所で堆肥として熟成させることについては、事務局として今回の報告書案には記載をしていない。</p> <p>委員  場所の確保についての心積りはどう考えているのか。</p> <p>事務局  事務局としては、場所とか匂いとか色々の問題があるため、検討する課題ではあるが、今回の報告書案では記載をしていない。</p> <p>もし、そういうことも考えていくべき問題であれば、この懇談会で報告書案に記載する事を決めてもらえれば、その部分の表現を、事務局のほうで考えて記載することは可能です。</p> <p>委員  今の回答では、本気でやる気があるのか疑問をもつ。  堆肥化をやるのであれば、市内のどこかの場所で行い、誰でも見</p>
-------------	---

	<p>られる場所でないと意味がない。</p> <p>もう一点質問があります。処理場の積算の根拠についてなんです が、何を基準にしている積算なのか。</p> <p>事務局 これは、以前、報告させていただいているとおり、収集・処理の 単価です。一週間に1回収集したときの最大で2,000キログラ ムの金額です。処理の金額については、業者から調査したものです。</p> <p>委員 現在、収集している単価を基準としてるのか</p> <p>事務局 単価につきましては、現在の収集単価ではなく、2トン車で1週 間1回収集したときに、どれくらい金額がかかるかを業者から調査 したものです。</p> <p>委員 収集単価から生ごみを引いた分が可燃分になるが、引いた分を処 理費用にするようなことが書いてあるが。</p> <p>事務局 その引いた分がどれだけの量になるのか、また、どれくらいコ スト的にプラス、マイナスになるのか、実際にモデル事業をやって みて、検証していきたいという表現です。</p> <p>委員 これは、生ごみ収集だけの単価ですか。</p> <p>事務局 そうです。</p> <p>委員 そうであれば、剪定枝を混ぜないと土壌改良材にならないので、 剪定枝の収集費用とか破碎費用及び購入費用も必要ではないか。</p> <p>また、機械購入については、市で購入なのか、業者に任せるのか がはっきりしていない。</p> <p>事務局 報告書案で記載させてもらってある内容については、基本的に生 ごみの一次処理、二次処理については、業者の方に処理を任せると いう表現です。</p> <p>委員 すでに委託する業者が決まってるのか。</p> <p>事務局 決まっていません。</p> <p>委員 入札時に色々な条件を入れなければならない。</p> <p>座長 ほかの委員の方も質疑はございませんか。</p> <p>委員 積極的に参加していただく地域という表現ですが、この積極的と いうことはどういうことなのか。住民がごみを堆肥化するのに積極 的に参加していただけるという意味にとれる。公募になっている</p>
--	---

	<p>が、公募してその公募に積極的に応募してくれるような自治会があるのかについて、どう考えているのか。</p> <p>事務局 市の方で地区を選定すると、市民の皆さんの参加意欲のあるところで、応募していただく方がモデル地区としてうまく運営していけると考えるので、この表現にしました。</p> <p>委員 質問の回答になっていないのでは。 公募して応募がなかったらどうするのかと質問しているのですが。</p> <p>事務局 これにつきましては、再度、応募という方法もありますし、職員がどこかに出かけて行って説明をして、調査するという方法もある。具体的には、公募がよいのではないかと考え、このような表現にしました。</p> <p>委員 そのつもりがあるのならお願いします。</p> <p>座長 ほかの委員の方も質疑はございませんか。</p> <p>委員 表現の問題が少しあるのですが。3ページに「くし」と唐突に記載してあるのですが、「竹ぐし」と記載してあればわかりやすい。 それから、5ページの上から5段目に「全国に流通して・・・」と記載してあるが、モデル事業としては、量的や技術的にも不可能と思う。「広く流通」などの表現がよいのではないか。</p> <p>事務局 はい、わかりました。</p> <p>委員 イベント等のときに市民に配布と記載してあるが、配布だけではあまってしまうと思う。市内の農家の人たちに、利用してもらえるように話をしてあるのか。</p> <p>事務局 現在、農協の経済部の方に折衝をしようと考えている。 今後、農家の方に利用してもらえる方法を、農協の方に相談をして行きたいと思っています。具体的には、決まっていません。</p> <p>委員 生ごみの堆肥化というのは、入口はいくらでもある。しかし、出口の問題がある。使用してくれる人がいなければ、いくら作って山となるだけです。最初からきちっと消費してもらえる形を作ってから事業化しなければいけない。</p> <p>委員 市民農園をやっている人たちに利用してもらえることが考えられるので、ぜひ、考えてほしい。</p> <p>事務局 たとえば、匂いとかの問題もありますが、どこかに場所が確保で</p>
--	--

	<p>きたとして、その置き場へ自由に取りに行ってもらう方法も可能と考えています。</p> <p>委員 一つ提案があるのですが。都営団地の高層化で空き地が沢山ありますが、その土地を借りて屋根などをつけて堆肥置き場に出来ないか。</p> <p>座長 それは、一つの場所の選定になりますね。</p> <p>委員 そこは、空き地ではない。来年には建替え工事が始まる予定です。</p> <p>委員 モデル地区の選定をするのに、ある程度、収集業者のことも考えていかななくてはならない。公募した場所が、分散していると集める時間、車の台数とか色々考えられる。報告書案の中に、比較的住宅の密集した地域、具体的に、村山団地、三ツ藤住宅、中藤団地と書いてあるが、本当にこの地域でいいのか。村山団地の高層に住んでいる方はかなり高齢化しているので一人でごみを出せないことがある。生ごみの戸数だけでは決まらない。生ごみの量も同じである。そういうことも広く考えていかななくてはならない。</p> <p>委員 もしかして、公募をして誰も参加してくれる人がいなかったときに、どこかへお願いに行くと思いますが、自治会の役員だけをお願いするのではなく、5世帯から10世帯単位で、戸別に周り何度も何度も説明しなければ、後で問題になると思う。出す人の都合も考えていかななくてはならない。</p> <p>委員 農協として村山支店から参加させていただいているのですが、東京みどりとしてだと、(国立・昭島・東大和・立川・武蔵村山)5市に跨っているのですが、農協として販売していくという考えなのか、武蔵村山市の地にあるのは、「学園支店」と「村山支店」だけですので、そちらだけで販売するのか、細かい話を聞いて上司に報告したい。</p> <p>事務局 今後の方法論として記載させていただいていますので、懇談会としての報告書案のなかでは、小売店・農協・農家等で使ってもらえるよう販売してもらう方法もあるので、報告としてあげてもらい、その報告を受けて、市の方で農協さんとどのような方法で販売できるのかという話をつめていかなければならないと考えています。</p> <p>委員 販売するにあたっては、小売店だけでなく、福祉作業所でも出来ると思います。</p> <p>事務局 われわれが、業者に委託をするときに処理から製品化までを全てお願いをする。それを、業者自身で製品化にするルートに乗せる方法と市の方で一部を武蔵村山ブランドみたいな形で製品化しては</p>
--	--

	<p>しいという方法もある。武蔵村山ブランドみたいな形で製品化した時には、一部を戻してもらえよう要望することが出来ると思う。福祉作業所での販売については、その辺の要望の話はできますが、契約については業者との話合いに成ります。</p> <p>座長 事務局さんにお任せしてはいかがですか。</p> <p>委員 一つ疑問があります。製品化するときには事業者の方をお願いしてしまうと、生ごみと剪定枝だけではなく何かを入れると思うのですが、何を入れて混ぜたのか、そのところをオープンにしてほしい。</p> <p>事務局 情報としてオープンにすることはよい事だと思います。製品化して肥料になるには、堆肥法の中にある一定の基準以上の質が求められていますので、製品化した時には、ある程度の市場に耐えうる物が出てくると考えています。</p> <p>座長 他にこの報告書案の中に入れたほうがよいと思われる意見がありましたらお願いします。この報告書案をまとめて提出できるよう仕上げていかななくてはならない。</p> <p>事務局にお任せするという事で、皆様よろしいですか。</p> <p>委員 市内全域での生ごみの収集運搬は、現在、すべてのごみが集積所収集と記載してありますが、又は戸別収集と入れたらどうですか。</p> <p>事務局 懇談会から出た意見の中に、戸別収集と言う意見もありましたので、方法の一つとして記載することなら可能です。よろしいですか。</p> <p>座長 他に質疑等ございませんか。</p> <p>特にないようですので、議題(2)の「その他」に入ります。</p> <p>事務局より何かありますか。</p> <p>事務局 この報告書案をまとめるにあたりまして、今、委員さんの方からいただいた意見について、事務局の方で、再度、報告書案として校正をさせていただきますが、もう一度、会議を開いて討議していただくか、座長さんと事務局との間で調整して報告書としてよろしいか、討議していただきたい。</p> <p>委員 もう一度やるのではないですか。</p> <p>座長 もう一度開いていただきたい。</p> <p>事務局 はい、わかりました。ありがとうございました。</p> <p>座長 以上で、本日の議題は、すべて終了いたしました。</p> <p>次に、第9回ごみ資源化等市民懇談会の開催時期について事務局</p>
--	--

にお尋ねいたします。

事務局

第9回のごみ資源化等市民懇談会は、9月15日までに開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

座長

これをもちまして、第8回武蔵村山市ごみ資源化等市民懇談会を閉会させていただきます。